

鹿沼市2050年脱炭素ロードマップ（概要版）

1. ロードマップの目的

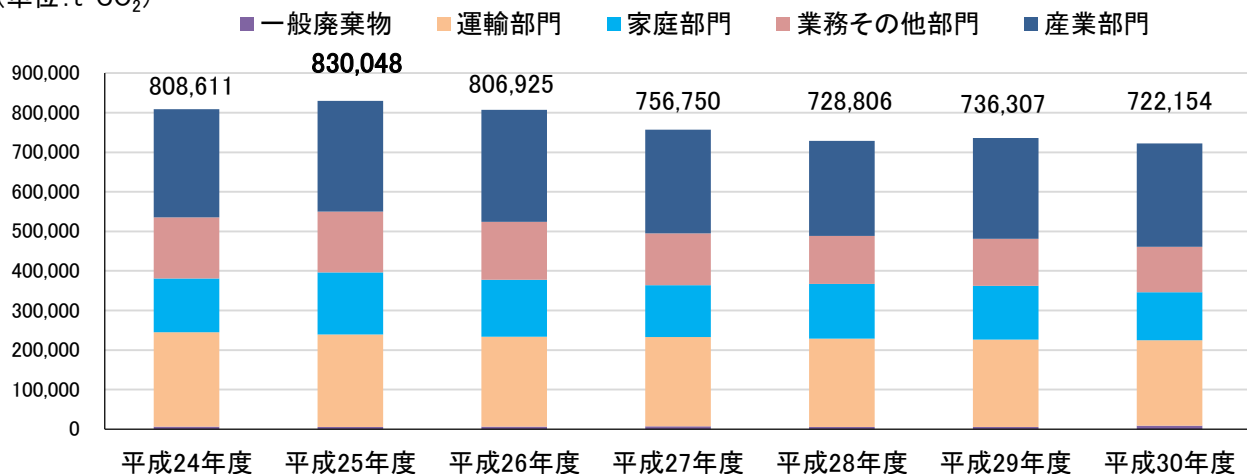
第5次鹿沼市環境基本計画 基本目標1 ゼロカーボンのまちをつくる

地域に根ざした再エネの最大限の導入等を通じて、地球温暖化対策や地域経済活性化など、地域の様々な課題を解決するため、再エネ導入ポテンシャルの分析等を行い、2050年脱炭素社会実現に向け必要な取り組みや再エネ導入目標量について、中長期的なロードマップを作成する。

2. 鹿沼市のCO₂排出量の推移

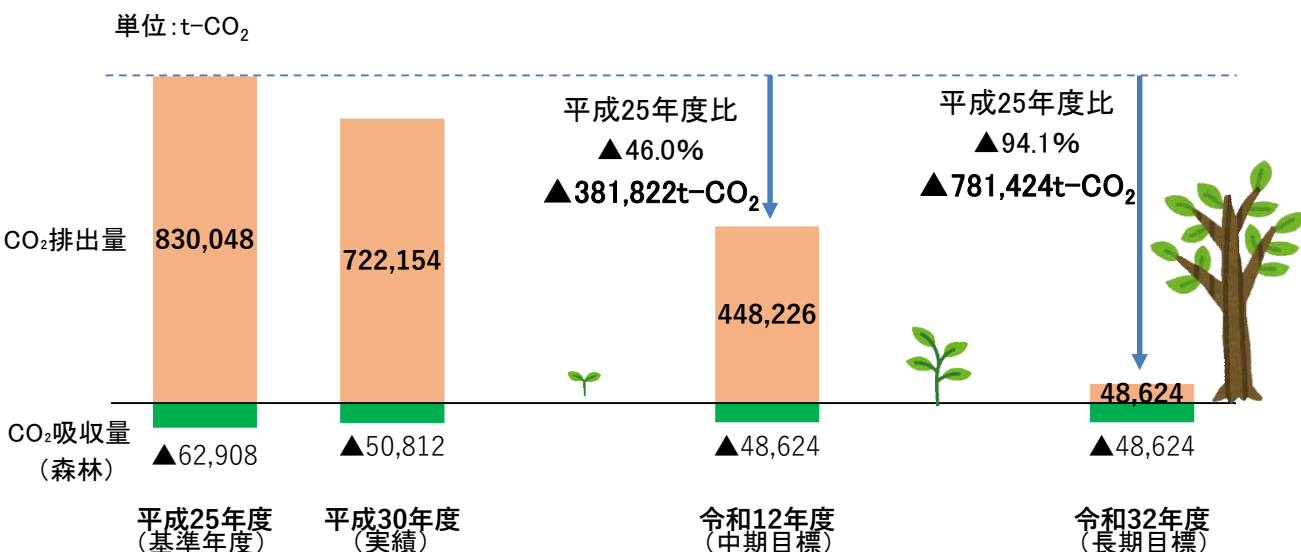
本市のCO₂排出量は平成25年度をピークに減少傾向。全体の4割弱が産業部門（平成30年度）。

（単位：t-CO₂）



3. カーボンニュートラルに向けた考え方

2050年（令和32年度）までにカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）の実現を目指す



○ 2050カーボンニュートラル実現のための3つの取組み

- ① 省エネルギーの推進
- ② 再生可能エネルギーの最大限導入、エネルギービジネスの検討促進
- ③ 生活様式（ライフスタイル）の転換

4. 再生可能エネルギー導入のポテンシャルと目標

本市の再生可能エネルギー導入ポテンシャルは極めて大きく、太陽光発電を中心とする再生可能エネルギーの導入によって、カーボンニュートラルを実現が見込めるだけの規模がある。

再生可能エネルギー種別	導入実績量 （令和2年度末累計）	導入件数 （令和2年度末累計）	導入ポテンシャル	導入ポテンシャルによる CO ₂ 排出削減量 （試算）
太陽光発電	105,916 MWh	4,498 件	3,923,558 MWh	2,048,097 t-CO ₂
住宅系	17,759 MWh	3,233 件	303,558 MWh	158,457 t-CO ₂
公共系	88,157 MWh	1,265 件	3,620,000 MWh	1,889,640 t-CO ₂
中小水力発電	— MWh	— 件	3 MWh	2 t-CO ₂
風力発電	— MWh	— 件	— MWh	— t-CO ₂
バイオマス発電	1,752 MWh	1 件	9,493 MWh	4,955 t-CO ₂
木質	— MWh	— 件	9,493 MWh	4,955 t-CO ₂
消化ガス	1,752 MWh	1 件	— MWh	— t-CO ₂
合計	107,668 MWh	4,499 件	3,933,054 MWh	2,053,054 t-CO ₂

令和32年度カーボンニュートラル実現に必要なCO₂削減量▲781,424t-CO₂を上回る規模

2050年カーボンニュートラルに必要なCO₂排出削減量を達成するために、再生可能エネルギー導入量（累計）を、現在の107,668MWh（令和2年度末）から、令和12年度までに**235,303MWh**、令和32年度までに**605,551MWh**へと拡大することを目指す。

○CO₂排出削減量

現状	R12目標	R32目標
-	66,626 t-CO ₂	259,895 t-CO ₂

○再生可能エネルギー導入量

現状（R2）	R12目標	R32目標
107,668 MWh	235,303 MWh	605,551 MWh

5. 取り組み① 省エネルギーの推進

- ・建物や住宅のZEB化・ZEH化の推進
（ZEB: Net Zero Energy Building、ZEH: Net Zero Energy House）
- ・中小企業における省エネ設備の導入
- ・EMSの導入拡大（EMS: Energy Management System）

6. 取り組み② 再生可能エネルギーの最大限導入、エネルギービジネスの推進

- ・地域に根ざした太陽光発電の導入推進（自然環境との調和に基づく最大限の導入）
- ・木質バイオマス発電の可能性の検討
- ・PPAモデルの検討（PPA: Power Purchase Agreement）
- ・地域に裨益する再生可能エネルギービジネスの可能性検討

7. 取り組み③ 生活様式（ライフスタイル）の転換

- ・COOL CHOICE の推進、普及啓発
- ・エコ通勤、エコドライブ、ごみ排出量削減など、市民・事業者・市が一丸となったCO₂削減
- ・森林の適正管理・保全